

超微細気泡発生装置

ASG2 型

取扱説明書

- この度は、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよく読んでからお使いください。

● もくじ	ページ
1. 安全上の注意	1
2. 各部の名称と機能	2
3. 設置の注意	3
4. 専用ホースの取り付け方	4
5. 運転前準備	5
6. 運転	5
7. エア吸込量の調整	5
8. サクションバルブの調整	6
9. 使用上の注意	6
10. 諸元表	7
無料修理規定	7
保証書	8

1. 【安全上の注意】

アース接続～電源接続後及び定期的（最低1ヶ月に1回）には“漏電保護ブレーカーの正常動作”の確認を必ず行ってください。



定期点検

コンセント差し込み

リセット（入り）ボタンを押す：通電

テスト（切り）ボタンを押す：電源遮断

電源遮断：OK

電源が遮断されない場合は漏電保護ブレーカーの故障が考えられます。すみやかに販売店へ連絡してください。

運転開始の場合はもう一度リセット（入り）ボタンを押します。

樹脂部品において損傷（折れ・破れ）が生じた場合は、すみやかに樹脂部品の交換をしてください。そのまま使用されると“ケガ”の発生につながります。



お願い

樹脂部品に損傷（折れ・破れ）が生じた場合、その部分は鋭利となり、素肌が触れると“ケガ”をする恐れがあります。損傷部品は販売店へ連絡し、交換を行ってください。

本器の“分解” “改造” は絶対にしないでください。

本器の“構成部品” は“純正品” を使用してください。



分解禁止

お客様で本体内部を分解しないでください。
お客様で構成部品の改造をしないでください。
本器の設置、運転、循環ろ過に使用する“構成部品（内容品及び付属品）” は純正品を必ず使用してください。
純正品を使用しないことから起因する“事故及びケガ” は“保証の対象外” となります。

2.【各部の名称と機能】

吸込口

吸込ホースを接続します。

サククションバルブ

気液吸込みバランスを調整します。
※使用方法詳細はP6【サククションバルブの調整】をご覧ください。

吐出口

吐出ホースを接続します。

エア吸込口

標準 0.4m透明塩ビホース付き。

ONOFF スイッチ

上：ON
下：OFF
装置を作動させるのに使います。

吸込ホース

ストレーナ付。標準 0.5m



取っ手

黒いゴムの部分をお持ち下さい。

自動エア抜弁

余剰エアを排出します。

エアバルブ

管に並行：全開
管に垂直：全閉

出荷時調整済

エア吸込量の調整に使用します。



ヒューズ交換口

ヒューズ交換はここで行ってください。
推奨ヒューズ：8A

漏電保護ブレーカー付プラグ

※次項の【設置の注意】をご覧ください。



吐出ホース

黒エルボ付。標準 0.5m

3.【設置の注意】

● 本体の設置

本装置は水平でがたつきのない平面に設置してください。

液体吸込口を水面より下に、エア吸込口の先に付いているホースの口を水面より上に設置してください。



【設置例】

● 電源コードの取り回し

本装置の電源は AC100V を使用しております。コードを傷つける可能性のある場所にはわせないでください。

● アースの接続

本装置のコンセントプラグは漏電保護ブレーカー付プラグを使用しています。設置の際にはアース線をコンセントのアース端子に接続の上、使用してください。

● 自動エア抜弁

自動エア抜弁からは運転中又は運転停止時に装置内部より液体が少量飛び出すことがあります。自動エア抜弁に付いているホースの先を濡れても危険の無い場所へ向けて下さい。



4.【専用ホースの取り付け方】

● 接続口の持ち方

下写真のように緑色のカバーをずらし、内側の4個の爪(白)がアンロックの状態を取り付け、取り外しをしてください。無理に押し込んだり、引き抜いたりすると内側の爪が折れてしまいます。



● ホース接続方法

吐出口と吐出ホースの接続口、吸込口と吸込ホースの接続口を合わせ、押し込んでください。カチとなるまで緑色のカバーを戻してください。



○良い例(隙間なし)



×悪い例(隙間あり)

5. 【運転前準備】

- スタート時、吸込ホースを半分程度以上水面下に浸しますと、水を吸い上げやすくなります。

6. 【運転】

- 運転を開始するときはスイッチを ON にしてください。（上向き）
- 運転をやめるときはスイッチを OFF にしてください。（下向き）

7. 【エア吸込量の調整】 ※出荷時調整済

- 空気以外の気体を使用する場合や、粘性のある液体を使用する際など、エアバルブを使いエア吸込量の調整を必要とする場合があります。
エアバルブを締め切った状態（管に垂直 ※P2 参照）から徐々に開き白濁するポイントを見つけてください。
※右図は出荷時状態目安



8. 【サクシヨンバルブの調整】

● 『装置本体の設置場所が水面よりも高い場合』

装置停止後、サクシヨンバルブを閉じてください。ホース内滞留水が脱落しないため、再起動が早くなります。

● 『装置本体の設置場所が水面より低い場合』

水面が装置本体よりも低い場合には、サクシヨンバルブにより吸込み水圧を調整することにより発泡状態を調整出来ます。サクシヨンバルブが開放状態でうまく発泡しない場合には、サクシヨンバルブを最大45度程度閉じることにより、発泡するようになります。発泡状態を目視確認しならば最適調整位置に設定してください。

9. 【使用上の注意】



- ホースを持って引っ張ったりしないでください。
- 運転中に吸込ホースを水面より上に持ち上げないでください。
- スイッチ操作は必ず指先で行ってください。
- 専用ホースをはずした状態での運転はしないでください。
- 装置の作動不良を防ぐため、毎月1回5分以上の運転をしてください。

本取扱説明書の【安全上の注意】【設置方法】【使用上の注意】が守られないことから発生した本体の故障は『保証の対象外（保証書の無効）』となり、保証期間内でも有料修理とさせていただきます。

10.【諸元表】

諸元表

型 式	ASG2
外形寸法	385mm×225mm×230mm(高さ)
本体重量	12.5kg
定格電源	AC100V
定格周波数	50/60Hz
定格消費電力	550W
生成能力	7.5～9 リットル/min.

備考:漏電保護プラグ付

[無料修理規程]

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買上げの販売店が無料修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - イ. 本書のご提示がない場合。
 - ロ. 本書にお買上げ年月日・お客様名・販売店の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - ハ. 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
 - ニ. お買上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
 - ホ. 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
 - ヘ. 一般家庭用以外（例えば、業務用）に使用された場合の故障・損傷。
 - ト. 持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料などは、お客様のご負担となります。また、出張修理などを行なった場合、出張料はお客様のご負担となります。

3. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合はお買上げの販売店、または代理店お客様相談窓口にお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ